

新たな温泉文化を発信する拠点

あすかのゆ

道後温泉別館 飛鳥乃湯泉

596年に、聖徳太子が道後温泉を訪れ椿が茂り合った明媚な風光を「寿国」のようだと讃え、碑を残したという物語から、「道後温泉別館 飛鳥乃湯泉」は飛鳥時代の建築様式を取り入れた湯屋がコンセプトです。明治を代表する道後温泉本館とあわせて、2つの時代が楽しめる道後温泉をPRしていきます。



道後温泉
の「新湯」



聖徳太子と湯の岡の碑文

館内は「太古の道後」をテーマに、道後温泉にまつわる伝説や物語を「愛媛の伝統工芸」と「最先端のアート」をコラボレーションした作品で演出し、温泉による「癒し」と、伝統工芸とアートによる「感性の刺激」を楽しんでいただけます。

DATA

所在地／松山市道後湯之町19-22

電話／道後温泉別館指定管理者

道後温泉コンソーシアム 089-932-1126

開館時間／6時～23時(礼止め時間はコースにより異なる)

年中無休(12月に1回臨時休館あり)

入浴料／大人：12歳以上、小人：2歳～12歳未満

1階浴室 大人 610円、小人 300円

2階大広間 大人 1,280円、小人 630円

2階個室 大人 1,690円、小人 830円

2階特別浴室 大人 1,690円、小人 830円+1組 2,040円

◆エントランス

現代から太古の道後への入口としての「いざない」を表現し、呼吸する和紙「ゼオライト和紙」の「山門シェード」や千年の釘といわれる「和釘」を使用した「巨大な湯玉の装飾壁」が見られます。また、浴室の入口には、日本三大緋「伊予緋」の「暖簾」でお出迎えます。



◆大浴場（女湯）

道後温泉本館にも飾られている砥部焼の陶板壁画で、道後温泉にまつわる和歌の風景を作り上げます。浴槽を囲むように3面の陶板壁画を設置し、和歌の世界観の中で、ゆっくりと湯船に浸かっているだけです。また、本館には無い、露天風呂も楽しむことができます。



◆大広間休憩室

大広間休憩室は約 60 畳あり、聖徳太子が道後温泉を“寿国”と讃えた世界観を表現し、雅で上質な空間を演出しています。

◆個室休憩室（5 部屋）

道後温泉にまつわる物語を愛媛の伝統工芸（伊予水引細工、筒描染、今治タオル、桜井漆器、西条だんじり彫刻）で表現しています。



◆特別浴室

道後温泉本館の皇室専用浴室「又新殿（ゆうしんでん）」を再現しています。昔、一定以上の身分の方が入浴するときには身に着けていた浴衣（よくい）「湯帳（ゆちょう）」を着て、古代の入浴体験が楽しめるほか、肌を見せたくない外国人の方も楽しんでいただけます。

